

令和5年1月24日 岐宿小学校だより第19号



えがお

五島市立岐宿小学校 校長 増田 祥子

○思いやりのある子
○楽しく学ぶ子
○たくましい子
笑顔あふれる、心身ともに
たくましい子供を育てます!

笑顔になる取組 その1 「イングリッシュデー」

3学期に、「イングリッシュデー」の取組を新たに始めました。毎週木曜日は1～6年生の英語科や外国語活動の授業のため、ALTのツハン先生が終日来校されます。そこで、毎週木曜日を「イングリッシュデー」として、学んだ英語を使って学校生活を送ることにしました。

第1回目は、1月12日。朝早く登校した子供に「おはようございます。」とあいさつをしたら、子供から「今日は英語じゃないの?」と返ってきました。その後、登校してきた子供に「Good Morning.」とあいさつをしたら、1年生は固まってしまいました。1年生はお昼の時間帯に外国語活動があるため、「Hello.」しか普段は使いません。「Good Morning.」の意味が分からず、キョトンとしたようです。お昼頃になると、廊下では、楽しいのかいつもより高い声で、「Hello.」というあいさつが飛び交っていました。



職員室へツハン先生をお迎えに来るときは、これまで「ツハン先生、お迎えに来ました。」とか「ツハン先生、カモン。」「ツハン先生、レッツゴー。」と言ったのを、イングリッシュデーを機に「May I come in. ツハン先生, Let's go to classroom.」という英語を現在練習中です。その他、授業の始まりや終わりのあいさつ、健康観察などの場面で、習った英語を無理なく使おうと頑張っています。子供も大人も心なしかいつもより笑顔が多く見られました。

笑顔になる取組 その2 ありがとうカード

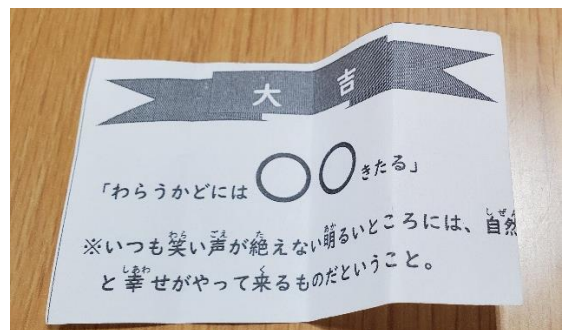
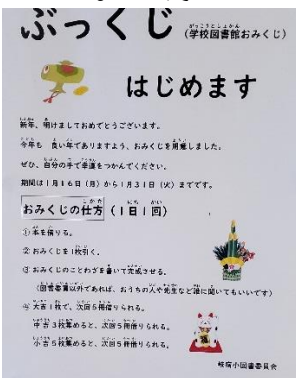
学校だより17号で掲載した人権集会の取組の一つに「ありがとうポスト」がありました。全員がもらえるよう工夫した取組で、現在、保健室付近の廊下に、全校児童106名一人一人に宛てたありがとうカードが掲示されています。このカードは、2学期の給食時間の放送でも一部が紹介されました。「ありがとう」という言葉は、人の役に立てたという自己有用感を高めるとともに、自分はこのままでいいんだという自尊感情を育て心のエネルギーを貯めることができます。家庭や地域でも、ぜひ「ありがとう」のシャワーを子供にかけてあげてください。きっと、子供も大人も笑顔が増えることと思います。



机の上には「おれいのおてがみ ごじゆうにおとりください」のメッセージ

笑顔になる取組 その3 「ぶっくじ」

1冊でも多くの本を読んでほしいという願いを込め、図書委員会がワクワクする取組をしてくれます。2学期にはハロウィンや、読書パズルの取組をしてくれたお陰で、「本を読まない子」、「読書が嫌い」の子供は一人もいません。また、1か月あたりの読書冊数は、市目標20冊や市平均22.3冊を大きく上回る28.4冊でした。1月はおみくじとブックをかけた「ぶっくじ」に取り組んでいます。



大吉「わらうかどには〇〇きたる」